



君と、何度でも

Haruon Pigeon × Shinji Ikari

18-18



設定(ご注意)

- 新世界で人間に生まれ変わったカヲル君がシンジ君を見つけ、もう一度恋人になる話(Qベース)
- 2人が高校生(高2×高1)
※表紙は未来図のつもりで大人にしています
※本編に大人の2人は出てきません
- 記憶あり(ないフリ)のカヲル君×
記憶なし(おぼろげにアリ)のシンジ君

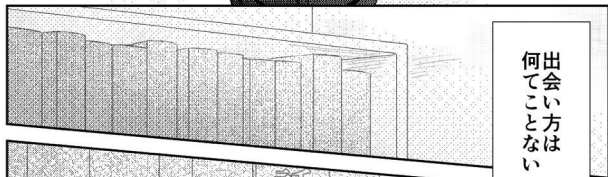
テーマは「心と体でカヲル君を思い出すシンジ君」です。
性描写が含まれますのでご注意ください。

初めて渚君と
出会った時の印象は

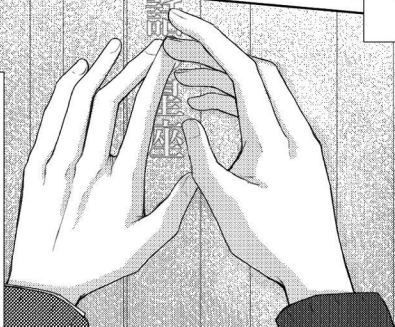


どこか懐かしい匂いのする
人だった

出会い方はい
何てことない



本を取ろうとした時に
手が重なって





……あれ？

星が
好きなのかい？

初めて
会ったはずなのに

その声
顔が
匂いが

なぜか僕には
ひどく懐かしく思えた

同じ趣味の人と
会える事は珍しく

渚君は、どうして星が
好きになったの？

僕達が打ち解けるのに
そう時間は
かからなかった

…前に、

こんな話を
ある人から
聞いたんだ

この宇宙の広さを
感じていると

心が
凄く安らいで

自分の事が
どうでもいい気がして
落ち着ける

その話を聞いて、
僕も星空を眺めるのが
好きになったんだ

ふうん…

それって何だか
僕の考えにも
似てるかも



僕も、小さい頃から
広い星空を見てると
落ちてくんだ

自分のいる小さな世界なんて
どうでもよくなってきた...

その人も、僕と同じ
気持ちだったのかな...

...って...

ごっし
ごめん

渚君に聞いてたのに
自分の話しちゃって...

ドキッ

いいよ

教えてほしい
もっと、君のことを



え…

す、好きって…

っでも僕達、まだ
知り合った
ばかりだし

それに…僕、
お、男だよ？

うん

恋人になりたい方の
好きだよ

関係ないさ

…っそう、
なんだ…

一般的には…
目惚れと言うのかな

最初に会った時から、
君に惹かれていたよ

……っ

…いきなり
驚かせて
ね

でも、僕の
気持ちには本当だよ

今すぐ返事を
考えなくてもいい

また僕と会って
くれるならその時に…

っあ…

ま、
待って！

あの…
こんなこと、

変だつて笑われるかも
しれないんだけど…

…渚君、

僕と昔、
会った事ない…？

どうだろう

僕には
わからないな



…あれ、

渚君…?

シンジ君…っ

あれ…何だろう

何か変だ…

ッあ

ふか、いよ
カルル君…っ

っ!?

シンジ君…

だすよ…っ

ふん…





.....え？

先輩なので初めは敬語をつかっていたが
お願いされてやめさせられたシンジくん



あの日から
僕は

前のように図書室に
行く事が出来なくなっていた

碇

最近よく教室に
いるんだな

いつも休み時間は
どっか行ってたのに

あ……うん

ちょっと、
色々あって……

行ける
わけない

……それとも、
あれは本当の夢
だったのかな

もし渚君に
会ってしまったら

どんな顔すればいいか
わからない

まさかあんな夢を
見てしまうなんて

いや、まさか
……ありえない

だって
僕は……



傘、持って
ないのかい？

うん…降ると
思ってたから

折り畳みも家に
置いてきちゃって…

そう

なら、
家まで送るよ

えっ、いや
そんな悪いよ！

君、いま走って
帰ろうと
してたろう？

駄目だよ

風邪を引いて
しまうから

渚君…
いつも通りだ

気を遣って
くれてるんだ…

あれ、渚先輩
じゃない？

本当だ

ヒッ

えー相手
だれー？

…え
なんか注目
されてる!?

…ほら、
早くしないと

僕達が噂に
なってしまうよ



~~~~~っ!!



まあ、  
僕にとっては

嬉しいこと  
だけだね



待ってよ、  
碇君

すまない  
怒らせたいんだ

からかってなど  
いないよ

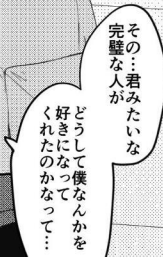
.....



もうっ

あんまり  
からかわないでよ!

心臓に  
悪い...





なんで…？

僕達、つい最近  
知り合った  
ばかりじゃないか

僕は完璧  
なんかじゃない

君のほうが、ずっと  
素敵な人だよ



これから、  
僕の家に来るかい？



…っねえ、

やっぱり僕達、  
どこかで  
会った事が…



…へ？

僕は  
一人暮らし  
なんだ

きっとゆっくり  
話ができるよ

…駄目かな？

…わかった



お待たせ

ココアで  
よかったかな？

あ……うん、  
ありがとう

ごめん

やはり、少し  
濡れてしまったね

……  
っ!?

ビクッ

ああああの

だ、大丈夫  
だからっ

……  
あ、あ、あ



気持ち  
焦ってしまっ  
て…

…すま  
ない

僕も、うま  
く  
言えないん  
だ

君を見つけてから、  
毎日が気じや  
なかったんだ

え…？

だからあんなすぐに  
気持ちを  
伝えてしまった

…焦る必要なんて  
なかったのに

渚君…？

は、

こんな僕で、  
がっかりしたかな

…つまりさ

君が他の人に取られて、  
しまうんじゃないかって、  
不安だったんだよ

…だから、  
そんな言い方は  
ずるいよ…

確かに

僕の目の前にいる  
渚君は

初めて会った時とは  
まるで印象が違う

いつも冷静な  
渚君が

今は僕の言葉一つで  
色んな表情に変化させるんだ

…そんな  
わけないよ

こんな彼は  
知らなかった

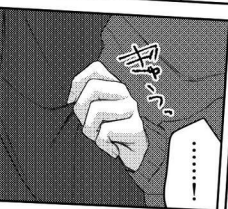
だって、渚君は  
ずっと僕に  
優しくしてくれた

多分、  
今までずっと

不思議なくらい、  
優しくしてくれたよ

君に、  
好かれたかったんだ

君にだけだ…







「カヲル君」

やっぱり  
馴染みがある

僕は昔、君の名前を  
呼んだ事がある気がする



——これは

いつの  
記憶なんだろう



恋人同士に  
なった僕たちは



あれから二人で  
過ごす事が多くなった



毎日が  
とても幸せで

でも  
時々

カヲル君の僕を見る瞳に  
熱を感じるようになって



勇気が  
出ない僕は

ずっとそれに  
気付かないふりをしていた

ごめん…  
カヲル君

ドキドキ

そして――

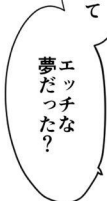
カヲル君の家に遊びに来た  
何度目かのある日

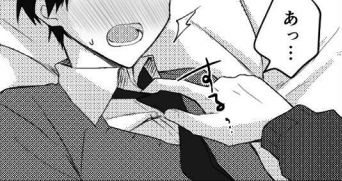
遂に「そういうこと」をする  
雰囲気になった





















君と会うために  
生まれてきたんだよ

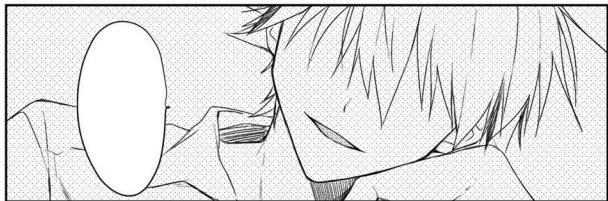


シンジ君、  
いい子だね...♡



君と繋がる事が  
できて幸せだよ

シンジ君、  
僕はね



カヲル君っ……!



どうして

忘れてしまっ  
たんだろう



んキッ

っえ

シンジ君!?

ごめ、ん  
カヲル君っ

うっ

ごめんねっ

ずっと

僕…思い出せ  
なくてごめん…っ

カヲル君に  
もらったもの

…ありがとう

カヲル君から  
言われたこと

シンジ君

カヲル君に  
してしまったこと

全てを  
思い出した僕は

14歳の子どもの  
戻ったかのように  
ただ泣いた

シンジ君  
ごめんね

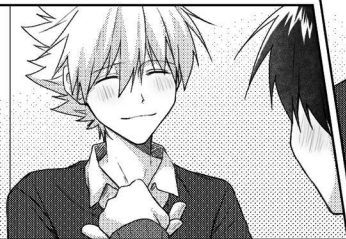
君に思い出してほしい  
気持ちと

思い出させていいのか  
迷う気持ちがあつて

ずっと  
言い出せなかった







僕は  
今度こそ  
君と幸せになるよ



## あとかきのなもの

最後までお読みいただきありがとうございます。  
漫画って本当に描くの大変だなぁと思いました・・・

「君と会うために生まれてきた」  
カヲル君のこの台詞が一番好きです。  
カヲル君とシンジ君に幸せになってほしい、  
ただその思いで考えた内容でした。  
いろいろ台詞を考えるのが楽しかったです。

ここまでお付き合いくださりありがとうございました。  
これからもハッピーなカヲシンを描いていきたいです。

2022/5/3  
やゆこ